

## 平成 28 年度 久里浜医療センター 看護部教育計画

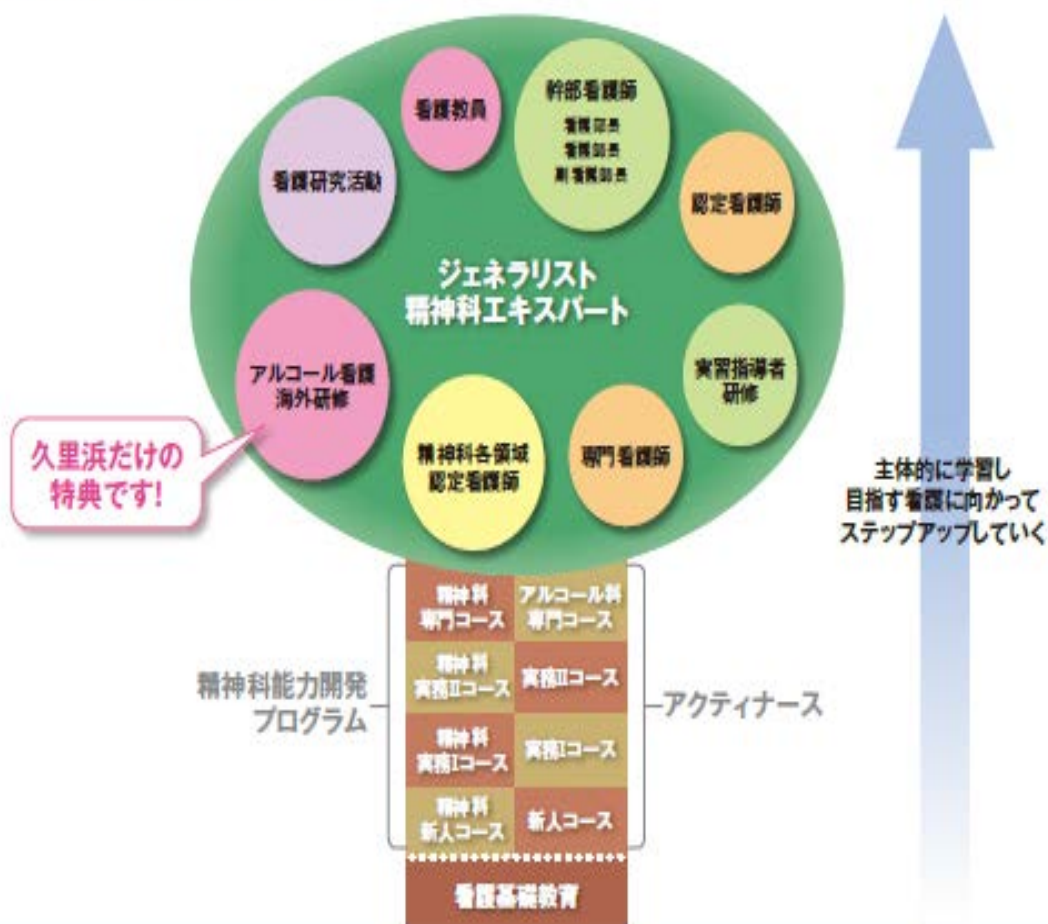
教育理念：専門職業人としての資質を高め、安全を確保し患者主体の看護が提供できる  
看護師を育成する

- 目 標：1.専門職業人としての知識・技術を深め、質の高い看護を提供する  
2.精神科領域の看護を深めるために必要な知識・技術・実践能力を習得する  
3.自己研鑽に努め、精神科看護・アルコール看護の指導的能力を養う

## 久里浜医療センターの教育ビジョン

### 能力開発プログラムと自己成長

精神科看護のエキスパートを目指しませんか？



### 精神科能力開発プログラム

- \*精神科看護・アルコール科看護の指導的能力を養う
- \*精神科領域の看護モデルの能力を養う
- \*精神科看護の実践能力やメンバーシップ・リーダーシップを習得する
- \*精神科看護の基本的な能力を習得する

## I. 新卒者教育プラン

### 1. 目標

- 1) 職場への早期適応と看護実践者としての基本的な能力を習得する
- 2) 精神科看護の基本的な能力を習得する

	集合研修	OJT	業務目安
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院オリエンテーション</li> <li>・リフレッシュ①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護技術： 移動（車椅子・ストレッチャー）、 採血・筋肉注射、 酸素吸入・吸引</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリセプターや先輩 について業務内容を知る</li> <li>・指導を受けながら、 業務を行う</li> <li>・2～4名の患者を先輩 看護師と一緒に受け持つ</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護記録</li> <li>・看護技術：隔離・身体拘束</li> <li>・自主参加：精神疾患と治療</li> <li>・自主参加：精神疾患の看護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護記録</li> <li>・隔離・身体拘束</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜勤研修（メンバー＋ 1名として開始）</li> <li>・夜勤独り立ち</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命救急</li> <li>・看護技術：静脈内注射・点 滴静脈内注射</li> <li>・自主参加：アルコール依存 症と治療</li> <li>・自主参加：アルコール依存 症患者の看護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟での救命救急時対応</li> <li>・静脈内注射</li> <li>・3ヶ月間の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休暇を取得しリフレ ッシュする（6月～10月の 期間で）</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リフレッシュ②</li> <li>・精神保健施法(全体研修)</li> <li>・自主参加：精神保健施策</li> </ul>		
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多重課題(演習)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け持ち患者のアセスメ ント・看護計画立案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先輩看護師の支援を受け ながら患者1名受け持つ</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多重課題(振り返り)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多重課題の振り返り</li> <li>・6ヶ月間の振り返り</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暴言暴力患者の対応の振 り返り</li> <li>・複数の受け持ち患者のア セスメント・看護計画立案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の患者を受け持つ</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リフレッシュ③</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年の振り返り</li> </ul>	
3月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の目標設定</li> </ul>	

## Ⅱ. 既卒者教育プラン

### 1. 目標

- 1) 職場への早期適応と看護実践者としての基本的な能力を習得する
- 2) 精神科看護の基本的な能力を習得する
- 3) 看護実践能力を確認し、院内教育コースを決定する
  - ①看護師経験年数、勤務内容、受講研修、資格等を確認する
  - ②看護実践能力、看護技術チェックリストを使用する

	集合研修	OJT	業務目安
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院オリエンテーション</li> <li>＊看護実践能力に応じた院内教育コースに参加する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護実践能力の確認</li> <li>・看護実践能力に応じた指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリセプターや先輩について業務内容を見る</li> <li>・指導を受けながら業務を行う</li> <li>・2～4名の患者を先輩看護師と一緒に受け持つ</li> <li>・夜勤研修（メンバー＋1名として開始）</li> <li>・夜勤独り立ち</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主参加：精神疾患と治療</li> <li>・自主参加：精神疾患の看護</li> </ul>		
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主参加：アルコール依存症と治療</li> <li>・自主参加：アルコール依存症患者の看護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヶ月間の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休暇を取得しリフレッシュする（6月～10月の期間で）</li> </ul>
9月			<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の患者を受け持つ</li> </ul>
2月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年の振り返り</li> </ul>	
3月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の目標設定</li> </ul>	

### Ⅲ. 実務Ⅰ前期（卒後2年目）

#### 1. 目標

- 1) 看護実践者としての基本的能力を基礎にして対象の状況に応じ実践する能力を養う
- 2) 看護倫理や看護の知について整理し実践能力を高める
- 3) 問題解決技法を理解し職場改善をメンバーとして活動する

	集合教育	OJT	業務目安
4月		・わからないことは報告・連絡・相談する	・報告・連絡・相談をしながらメンバーとして業務を遂行する
5月	・メンバーシップ①	・先輩の指導のもと病棟内役割を遂行する ・メンバーシップの課題を実施する ・受け持ち患者について、習得した知識技術を活用し実践する	・病棟内係りを担当する
7月	・メンバーシップ② (個別指導)	・メンバーシップの課題に対し支援を受けながら実施する	
9月	・プリセプターⅠ①	・「かもめレター」作成のため関係者、部署に原稿を依頼する	
10月	・看護倫理	・日々の実践の中から倫理的問題と思われる事例について取り上げ病棟内で検討する事ができる	
11月	・メンバーシップ③	・メンバーシップ研修で気付いたことを報告し病棟内で活用する	
1月	・プリセプターⅠ②	・「かもめレター」作成発送	
2月	・プリセプターⅠ③	・次年度のプリセプターとして久里浜医療センターの教育指針を理解する ・2年目の振り返りと次年度の目標設定	・看護業務を自立して実践できる

#### IV. 実務 I 後期（卒後3年目）

##### 1. 目標

- 1) 看護実践者として個別性を重視して看護技術を提供する
- 2) 後輩の支援と共にリーダーシップを発揮する
- 3) 精神科看護の実践能力やリーダーシップを習得する

	集合教育	OJT	業務目安
4月			・プリセプターとして新採用者に関わる
6月	・看護研究Ⅰ： 事例研究①	・事例を選択し取り組む ・プリセプター役割を遂行する	・プリセプター・プリセプティ会議の実施
7月	・プリセプターⅡ①	・プリセプター役割を遂行する ・プリセプティ育成について先輩看護師・副看護師長・看護師長に報告・連絡・相談する ・「かもめレター」の作成と発送	
9月	・看護研究Ⅰ： 事例研究② (個別指導)	・計画的に実施し不明なことは副看護師長・看護師長の助言を求める ・教育担当者のアドバイスで修正等を行う	
10月		・プリセプター役割を遂行する	・プリセプター・プリセプティ会議の実施
12月	・看護研究Ⅰ： 事例研究③	・発表練習を行い副看護師長・看護師長からアドバイスを受ける ・病棟内で伝達する	
2月	・プリセプターⅡ②	・プリセプター役割を遂行する ・3年目の振り返りと次年度の目標設定	・リーダーシップを発揮することができる。 ・プリセプター・プリセプティ会議の実施

## V. 実務Ⅱ（卒後4～5年目）

### 1. 目標

- 1) 看護実践者として役割モデルになる
- 2) チームリーダーの役割が果たせる
- 3) 精神科領域の看護モデルの能力を養う

	集合教育	OJT	業務目安
4月	・看護研究②	・看護研究のテーマを考える ・文献検索をする	・チームリーダーとして業務を遂行する
5月	・看護研究③ ・看護管理Ⅱ①	・指導を受けながら研究計画書を作成する ・管理的視点で自己の課題に取り組む	
6月	・看護管理Ⅰ① ・看護管理Ⅱ② (個別指導)	・リーダーシップを発揮し課題に取り組む ・教育担当者のアドバイスで修正等を行う	
7月	・看護研究④ ・看護管理Ⅱ③ (シャドーイング)	・看護研究を倫理審査委員会に申請する ・管理的視点で師長のシャドーイングを行う	
9月	・看護研究⑤ ・看護管理Ⅰ② (個別指導)	・看護研究のデータを収集する ・教育担当者のアドバイスで修正等を行う	
10月	・看護管理Ⅱ④	・自己の課題の成果をまとめ発表する ・病棟内で伝達する	
11月	・看護研究⑥ ・看護管理Ⅰ③	・看護研究をまとめる ・自己の課題の成果をまとめ発表する ・病棟内で伝達する ・卒後4年目の振り返りと次年度の目標設定を行う	
1月	・看護研究⑦	・発表の準備を行う	
3月	・看護研究⑧	・院内の看護研究発表後に院外発表するための準備を行う	・看護実践者として役割モデルになる

## VI. 看護実践能力アップ（卒後5年目以上）

### 1. 目標

- 1) 主体的に学習し目指す看護に向かってステップアップする
- 2) 精神科看護、アルコール科看護の指導的能力を養う

### 2. 院内教育研修

研修内容	時期	他
・トピックス研修	5・6・7・9・10・ 11・12・1・2月	・自主的参加

### 3. 目指す看護に向かってステップアップ

#### 1) 当院主催の研修

- (1) アルコール依存症臨床医等研修（看護師コース）
  - ・研修生として参加する
  - ・ファシリテーター、講師として参加する
- (2) 依存症回復施設職員研修
  - ・ファシリテーターとして参加する

#### 2) 久里浜医療センター海外研修

##### (1) 目的

- ①アメリカ国立保健研究所(NIH)、国立アルコール乱用・依存症研究所(NIAAA)においてアルコール研究活動の実際を学び当院全体のアルコール依存症治療に関する質の向上に寄与する
- ②アルコール関連問題に積極的に取り組み、当院看護部の教育・研究活動、広報活動に貢献する

##### (2) 資格

- ①アルコール関連問題に積極的に取り組み、研修後も当分の間、久里浜医療センターに勤務し臨床の教育・研究活動に引き続き続けること
- ②久里浜医療センターにおいて看護師として3年以上勤務し、職場長の推薦がある者。
- ③日常会話以上の英会話が可能なこと。